「地域マネジメント支援システム」および 「重点対象地域選定シート」の見方や結果の読み取り方

高瀬 遼 日本老年学的評価研究機構 システムエンジニア

JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

HPのログイン方法/地域マネジメント支援システム・ 重点対象地域選定シートへのアクセス方法

JAGES 2022

JAGES HPへログイン



01 HPヘアクセス

02 ログイン

03 共同ルーム

JAGES Q

「JAGES」で検索 or https://www.jages.net/ ヘアクセス



- ①右上の「ログイン」をクリック ②IDとパスワードでログイン
- - ①上部の「見える化」をクリック
 - ②左下の「共同ルーム」をクリック
 - ③右側の表示を確認

JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

地域マネジメント支援システムの種類



■【A】 <市町村レベル> 地域診断書(年齢調整)

75市町村・<u>自立者のみ</u>比較。全市町村の年齢構成が同じになるように年齢調整(2015年基準人口を年齢を 5 歳刻みで調整)。基本チェックリスト・幸福感・ソーシャルキャピタル得点(3種類)の12指標。

■【B1~3】 <市町村レベル> 地域診断書(全年齢・前期・後期高齢者)

集計に用いたデータの対象者別にB1~B3を作成。

B1:75市町村・<u>自立者のみ</u>比較。調査票コア・サブコア・バージョン設問から作成した指標を含めた全184指標。 全保険者が掲載対象。 継続参加保険者は経年比較有り。

B2:50市町村・<u>自立者+総合事業対象者。</u>報告書掲載の64指標。 調査対象者に、総合事業対象者を含む保険者(市町村)が掲載対象。

B3:54市町村・<u>自立者 + 総合事業対象者 + 要支援者。</u>調査対象者に、要支援者を含む保険者が 掲載対象。総合事業対象者が識別不能な13市町村を含む。報告書掲載の64指標。

■【C】<小地域レベル>地域診断書(全年齢・前期・後期高齢者)

全年齢高齢者・前期高齢者・後期高齢者別。75市町村 小地域・自立者のみ比較。バージョン設問からの指標を含めた全184指標。継続参加保険者は経年比較有り。

地域マネジメント支援システムの種類



地域マネジメント支援システム2022

参加している他の市町村と比較するための 地域診断書

市町村レベル

- ■【A】地域診断書(年齢調整) •
- ■【B1】地域診断書(自立者のみ)
- ■【B2】地域診断書(総合事業対象者含む)・
- 【B3】地域診断書(総合事業対象者・要支援者含む)。

小地域レベル

【C】地域診断書(自立者のみ)

市町村内の小地域で比較するための 地域診断書 年齢調整を行なった地域診断書。年齢調整を 行なっているので、全体のみ。

ベンチマークのために、要支援者や総合事業対象者のデータを除いて作成した地域診断書。

総合事業対象者を含めて調査を実施した保険 者向け。総合事業対象者を含めた地域診断書。

総合事業対象者・要支援者を含めて調査を実施した保険者向け。要支援者や総合事業対象者を含めた地域診断書。

JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

地域マネジメント支援システムの使い方



2022年・JAGES調査参加自治体 向け資料ページ地域診断支援システムの見方 (JAGES HEARTの見方)県 市共同ルーム

地域マネジメント支援システム2022

市町村レベル

- ■【A】地域診断書(年齢調整)
- ■【B1】地域診断書(自立者のみ)
- ■【B2】地域診断書(総合事業対象者含む)
- ■【B3】地域診断書(総合事業対象者・要支援者含む)

小地域レベル

■【C】地域診断書(自立者のみ)

ご覧になりたい、 地域診断書を 選択

検索 🖪 リンク追加 リンク編集

地域マネジメント支援システム2019

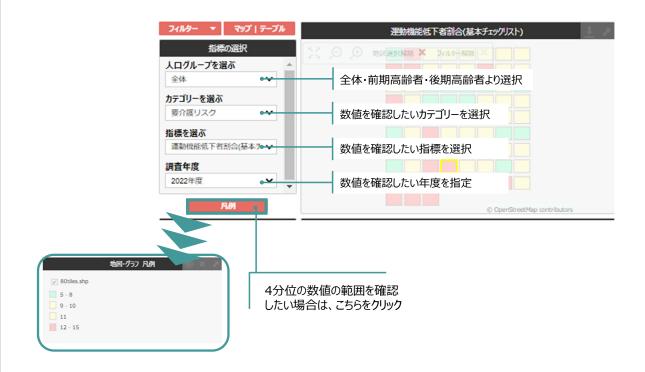
検索 ・リンク追加 リンク編集

!!お知らせ!!

■ 【重要】Motion BoardからInstantAtlasへの移行に関するお知らせ文書

地域マネジメント支援システムの使い方





JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

地域マネジメント支援システム





※地域マネジメント支援システムを開く場合、インターネットブラウザは「Edge」、「Fire Fox」「Google Chrome」を推奨しております







地域の選択



・フィルターの設定

確認したい表示に絞り込むことができる

・地域の選択

タイルの上にカーソルを置くと地域名と数値が確認できる (上:北海道→下:九州)

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ)|地域診断書|要介護リスク(2



JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

地域診断書の見方



・マップ/テーブルの表示

選択した指標について全保険者のデータを 確認したい場合は、ここをクリック

JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ)地域診断書 | 要介護リスク (2022年度)

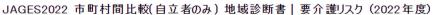


指標定義の見方(1)











JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

指標定義の見方(2)



【 2022年度地域マネジメント支援システム 指標定義 】

カテゴリ	指標名	指標定義	JAGES 設問番号	198	ズ調査 番号
要介護リスク		以下の項目から質出される点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度) 1.性別、2.年齢、3.J(スや電車を使って1人で外出できない、4.自分で食品・日用品の買い物ができない、5.自分で預貯金の出し入れができない、6.階段を手すりつたわらず昇ることができない、7.椅子からつかまらず立つことができない。8.15分位続けて歩くことができない。9.過去1年で転んだ経験が1度または何度もある。10.転倒に対して不安である。11.身長・体重(BMI)が18.5未満、12.昨年より外出の図数が減っている Tsuji T, Kondo K, Kondo N, Aida J, Takagi D. Development of a risk assessment scale predicting incident functional disability among older people: Japan Gerontological Evaluation Study. Geriatrics & Gerontology International 18(10): 1433-1438, 2018.;doi.org/10.1111/ggi.13503 https://www.jages.net/library/pressrelease/?action=cabinet_action_main_download█_id=1900&room_id=549&cabinet_id=155&file_id=7587&upload_id=9183	BM(1) BM(2) BM(5) BM(6) BM(6) BM(7) BM(14) BM(4) BM(4) BM(4) BM(4) BM(4) BM(4) BM(4) BM(4) BM(4) BM(5) B	間4(4) 間4(5) 間4(5) 間2(1) 間2(2) 間2(3) 間2(4) 間2(5) 間3(1) 間2(7)	
要介護リスク	フレイルあり割合(基本チェッ クリスト8項目以上)	以下の25項目のうち8項目以上当てはまる人の割合。 1.パスや電車を使って1人で外出できない、2.自分で食品・日用品の買い物ができない、3.自分で預貯金の出し入れができない、4.友達の家を訪ねることがない、5.家族や友だちの相談に乗ることがない、6.階段を手ずりつたわらず昇ることができない、4.友達の家を訪ねることがない、5.家族や友だちの相談に乗ることがない、6.階段を手ずりつたわらず昇ることができない、7.椅子からつかまらず立つことができない、8.15分位続けて歩くことができない、9.過去1年で転んだ経験が1度または何度もある、10.転倒に対して不安である、11.6か月間で2~316以上体重域か、12.身長・体重(BMI)が18.5未満、13.半年前より聞いものが食べにくい、14.お茶や汁物等でむせることがある、15.口の渇きが気になる、16.外出する頻繁が月に1~3回またはそれより少ない、17.昨年より外出の回数が減っている、18.いつも同じことを聞くなどいわれる、19.自分で電話番号調べて電話しない、20.今日が何月何日かわからないことがある。21. (ここ2週間)充実感がない、22. (ここ2週間)楽しめなくなった、23. (ここ2週間)おっくうに感じられる、24. (ここ2週間)役に立つと思えない、25. (ここ2週間)わけもなく疲れる		間4(4) 間4(5) 間4(8) 間4(13) 間4(14) 間2(1) 間2(2) 間2(3) 間2(4) 間2(5) 間3(7) 間3(7) 間3(7) 間3(3)	IR3(4) IR2(6) IR2(7) IR4(2) IR4(3)
要介護リスク	運動機能低下者割合(基本 チェックリスト)	以下5項目のうち3項目以上当てはまる人の割合。 1.階段を手すりつたわらず昇ることができない 2.椅子からつかまらず立つことができない 3.15分位続けて歩くことができない 4.過去1年で転んだ経験が1度または何度もある 5.転倒に対して不安である ※2010-2013においては、図路が「できるし、している/できない」のみであり「できるけど、していない」という選択 肢がなかった。よって、2016年以降と経年で見るのは正しくないため分離することとなった。	E3(6) E3(7) E3(4) E3(4) E3(4) E3(5)	問2(1) 問2(2) 問2(3) 問2(4) 問2(5)	
要介護リスク	1年間の転倒あり割合	過去1年間に1度または何度も転んだ経験がある人の割合。	III3(4)	間2(4)	
			問10(2) (3問9(11) 問5(1)(9) (2問9(12)	BIS(1)(8)	問4(1)

相関分析の見方(1)



散布図のページへ



笑5者の割合

00

92.3 13.6

14.6

11.5

市町村平均 下位 (0~25%)

上位 (75~100%)

11.5

四分位範囲/IQR (ミドル 50%)

JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

相関分析の見方(2)

2010年度

2016年度

2013年度

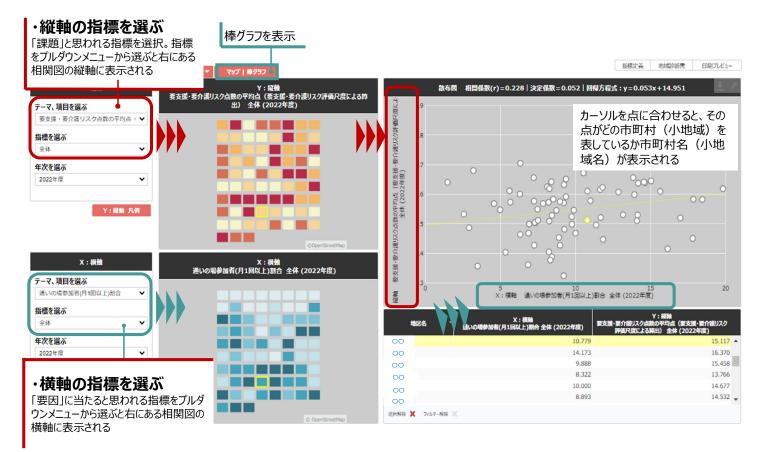
2019年度

2022年度

2019年度 2022年度



18.6



印刷の手順(1)





JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

印刷の手順(2)





町村間比較(自立者のみ)地域診断書 | 要介護リス



印刷の手順(3)







各種設定後、印刷ボタンをクリック

JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

地域マネジメント支援システムの 結果の読み取り方

JAGES 2022

地域診断書の読み取り方(1) タイルの読み取り方 選択した指標の結果がほかの市町村(小地域)と比較して3分位 の何番目に入っているか確認できる どの地域が良い/悪い? それらの地域は固まっている/分散している? JAGES2022 市町村間比較(自立者のみ) 地域診断書 | 要介護リ 重点対象地域は? 運動機能低下者割合(基本チェックリスト) 要介護リスク 人口グループを選ぶ 要支援・要介護リス 価尺度による算出) フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上) カテゴリーを選ぶ 12.0 運動機能低下者割合(基本チェックリスト) 5.3 1年間の転倒を分割合 認知症リスク得点(認知症リスク得点による算出) 3.4 3.3 4.3 認知症リスク者(7点以上)割合 運動機能低下者割合(基本 加忘れが多い者の割合 口腔機能低下者割合(基本チェックリスト) 16.5 27.2 残備数19本以下の者の割合 笑う者の割合 92.8 89.6 95.1 3つ割合(ニーズ)固合) つ割合(基本チェックリスト) カテゴリー/指標名を選択 35.3 フレイルなし割合 54.8 56.6 プレフレイルあり割合 生活機能低下者割合(基本チェックリスト) ⇒数値が大きい方が良い(リスクが低い)のか、 3.3 1.3 悪い(リスクが高い)のかは指標によって異なる BMIが18.5未満の者の割合 12.2 肥満(BMI25以上)者割合 低栄養者割合(基本チェックリスト 上四分位: 10.8 四分位範囲: 3.0 認知機能低下者割合(基本チェックリスト) 32.6 29.0 42.8 過去1年間に1日以上続く腰痛があった者の割合 過去1年間に1日以上続く膝痛があった者の割合

若いころと比べて身長が4cm以上縮んだ者の割合

地域診断書の読み取り方

現場感覚から妥当/意外?

どの指標を施策対象にするか?

他の指標との関連から妥当/意外?

良い/悪い指標は?

耳がよく聞こえる者の割合

33.9

21.7

4.2

どの指標が良いか(悪いか)確認し、重点的に見ていく指標を確認する。

今回の数値と過去の数値の推移

15 10

2010年度

2013年度

(他市町村との比較ではない)

- 目標値を達成しているか?
- 改善/悪化しているか?
- 設定した目標値の設定が妥当か?

AGES

Japan Gerontological Evaluation Study

地域診断書の読み取り方(2)



44.8

22.1

経年比較/時系列変化

2016年度

2019年度

2022年度



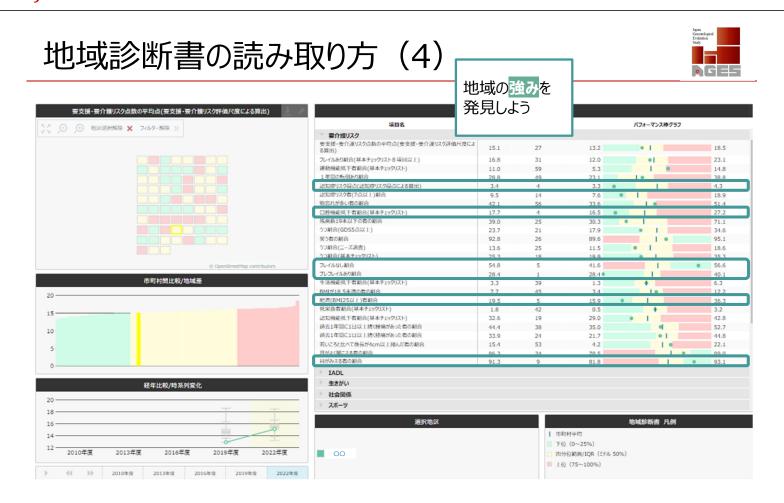
地域診断書の読み取り方(3)





AGES

Japan Gerontological Evaluation Study



地域診断書の読み取り方(5) 地域の課題を 発見しよう 要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出) 項目名 パフォーマンス棒グラフ ◇ ○ 地区選択解除 🗶 フィルター解除 💥 要介護リスク 15.1 27 13.2 18.5 7者(7点以上)割合 残南数19本以下の者の割合 39.0 30.3 71.1 23.7 92.8 うつ割合(GDS5点以上) 89.6 笑う者の割合 50割合(ニーズ調査) 13.6 11.5 18.6 うつ割合(基本チェックリスト) フレイルなし割合 プレフレイルあり割合 28.4 28.4 40.1 生活機能低下者割合(基本チェックリスト) BMIが18.5未満の者の割合 12.2 肥満(BMI25以上)看割合 19.5 15.9 36.3 低栄養者割合(基本チェックリスト) 認知機能低下者割合(基本チェックリスト) 32.6 42.8 29.0 過去1年間に1日以上続く腰痛があった者の割合 44.4 35.0 52.7 22.1 日がみえる者の割合 IADL 生きがい 社会関係 スポーツ 18

JAGES

16

2010年度

2013年度

Japan Gerontological Evaluation Study

相関図の読み取り方

2016年度

2013年度

2019年度

2016年後 2019年後

2022年度



相関図の読み取り方

- 相関の強い指標は?逆相関にも注目
- 特に「要因」と思われる指標との相関に注目
- 「相関がある」と思っていた指標と実際に相関がありそうか (あるいは、その逆)
- 「相関係数」は大きいほど強い相関を示す0.2~0.4:弱い相関、0.4~0.7:中程度の相関、0.7以上:強い相関

| 市町村平均

四分位範囲/IQR (Eドル 50%) 上位 (75~100%)

- 小地域(一つの点)のサンプル数が少なければ 「外れ値」になる可能性が高まる
- 外れ値の原因は?



まとめ一地域診断書の読み取り方





JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

重点対象地域選定シートの格納場所について





地域マネジメント支援システムと 重点対象地域選定シートの使い方

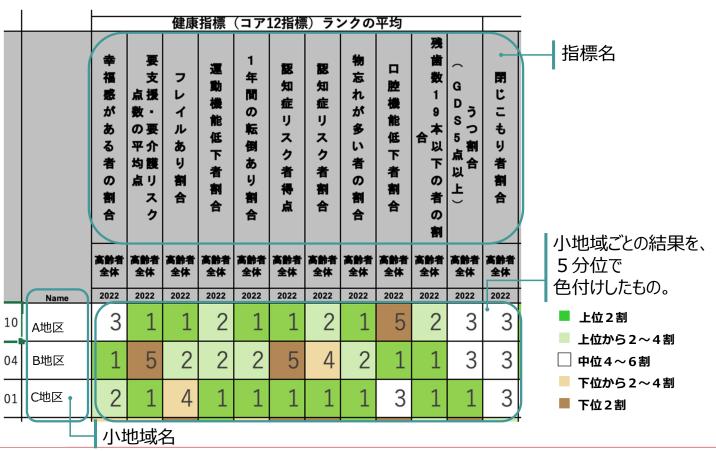
JAGES 2022

JAGES

Japan Gerontological Evaluation Study

重点対象地域選定シート1(単年)





重点対象地域選定シート2(経年)



